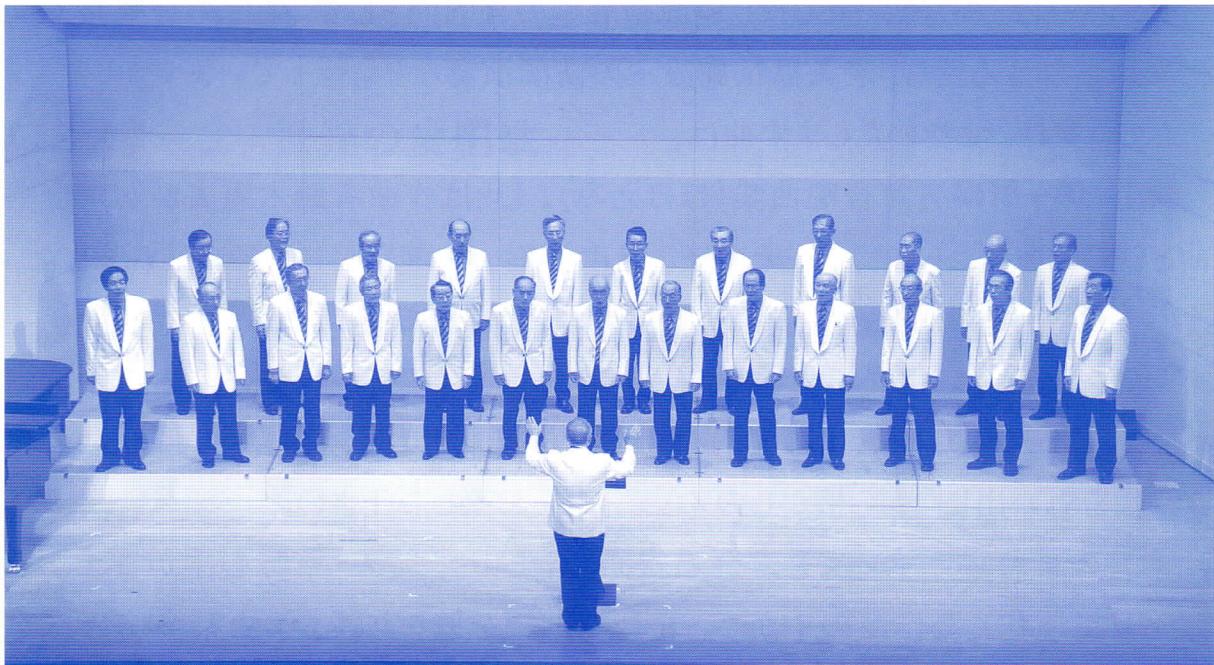


横浜さかえ男声合唱団

第7回 定期演奏会



平成25年5月19日(日)

開演 14時

横浜市 栄公会堂ホール

後援/栄区役所 栄区文化協会 栄区音楽協会

ご挨拶

本日は、ご多忙の中を大勢のお客様にお越しいただき、ありがとうございます。私達の合唱団は、昭和61年に栄区誕生を記念して発足した「栄区民合唱団(混声)」の男声部が始まりです。平成13年10月に堀部隆二先生をお迎えし、「横浜さかえ男声合唱団」として独立。平成15年10月に第1回定期演奏会を開催して以来、今回で7回めの定期演奏会を迎えました。堀部先生の厳しい中にもユーモア溢れるご指導もすっかり定着しています。

メンバーは、50代から80代、地域密着型の合唱団として、栄区の合唱祭や文化祭に参加する傍ら、老人福祉施設への訪問演奏なども行っています。

さて、本日、演奏いたします曲は、

第1ステージが男声合唱曲集「ほほえみ」。もとは作曲者鈴木憲夫が女声合唱曲として作曲したもので。その後、混声合唱、男声合唱にも編曲されました。その美しい詩と曲想を、ピアノの美しさが更に引き立ててくれます。

第2ステージは「世界の愛唱歌」。

第3ステージは、団員指揮者角祐一の指揮・編曲で、「昭和を歌う」。昭和の良き時代を思い出しながら懐かしのメロディーをお楽しみ下さい。

本日の最終ステージは男声合唱組曲「富士山」。詩人・草野心平が富士山をテーマに連作した作品の中から、五つの詩編を取り上げ、作曲家多田武彦が男声合唱組曲として構成した組曲です。特に終曲は情景描写が目に見えるようなこよなく美しい男声合唱の名曲です。

団員も年々齢を重ねる中、「歌える今、精一杯歌い切ろう」そんな想いで今日の演奏会を迎えました。どうぞ最後までごゆっくりお聴き下さい。

団長 伊藤 正昭

プログラム

第1ステージ 男声合唱曲集 「ほほえみ」

ふるさとの木の葉の駅
憧　れ
朝　に
ひとひらの花びら
めぐりあいの中に
ほほえみ

作曲 鈴木憲夫
指揮 堀部 隆二／ピアノ 首藤 亜希
作詩 坂村真民
作詩者 不詳
作詩 立原道造
作詩 鈴木憲夫
作詩 鈴木憲夫
作詩 小田切清光

第2ステージ 世界の愛唱歌

オーラ・リー
月の夜
野ばら
森の歌声
カリンカ

作詞 W.フォスディック 作曲 G.ポールトン
作詞 林 英太郎 作曲 J.パークス
作詩 ゲーテ 作曲 メンデルスゾーン
作詩 三沢 郷 アメリカ学生歌
訳詩 楽団カチューシャ ロシア民謡

休憩

第3ステージ 昭和を歌う

編曲/指揮 角 祐一／ピアノ 首藤 亜希
悲しき口笛 作詞 藤浦 洋 作曲 万城目 正
有楽町で逢いましょう 作詞 佐伯孝夫 作曲 吉田 正
ブルー・シャトー 作詞 橋本 淳 作曲 井上忠夫
霧の摩周湖 作詞 水島 哲 作曲 平尾昌晃
野風増 作詞 伊奈二朗 作曲 山本寛之

第4ステージ 男声合唱組曲 「富士山」

作詩 草野心平 / 作曲 多田武彦
指揮 堀部 隆二

- I. 作品第壹
III. 作品第拾陸
V. 作品貳拾壹
II. 作品第肆
IV. 作品第拾捌

曲 目 解 説

第1ステージ 男声合唱曲集 ほほえみ

ふるさとの木の葉の駅

「念ずれば花ひらく」の詩碑で知られる坂村真民の詩に作曲されました。木葉(このは)駅は詩人の出身地熊本県にJR九州鹿児島本線の駅として実在しています。幼少時を過ごしたふるさとや亡き母を想う心を歌います。

憧 れ

20歳のころに喫茶店で友人から見せられた詩にほのかな憧れのような思いを感じ、作曲者が半分以上の作詩をした曲です。曲集中唯一無伴奏で歌われます。

朝 に

1988年「よのコーラス」団員の希望で立原道造の詩に作曲した曲です。「あ～風が吹いている 涼しい風だ」の部分は詩人と同じ場所で空気を吸っているかのようです。

ひとひらの花びら

早世した友のために発表した曲です。友人の生涯を花びらにたとえて歌います。

めぐりあいの中に

CD録音や曲集出版を祝うコンサートのお礼に作曲されました。「だから人は 美しきひとときのために まためぐりあう」に、作曲者の感謝と喜びの心が表現されています。

ほほえみ

詩人小田切清光さんは、(編者との交流の中で)常に微笑みを絶やすことがなく、また周囲に集う人々をも、微笑みで満たす方でした。曲集のタイトルともなっていますが、音楽を通して、皆がほほえみで満たされることを願い歌いあげます。

第2ステージ 世界の愛唱曲

オーラ・リー

1861年オハイオ州シンシナティでミンストレルショーのために出版された曲で、当時は南北戦争に出征した兵士たちが故郷の恋人を思い愛唱していました。エルヴィス・プレスリーの「Love me tender」の原曲でもあります。自由な動きの中で美しい旋律を叙情豊かに歌いあげます。

月 の 夜

作曲者J.A.PARKSは、19世紀後半から20世紀前半にかけて、多くの歌曲や合唱曲を残したアメリカの作曲家です。この曲は1896年に男声合唱曲「Until the dawn」として作曲されたセレナーデで、甘い眠りに聴き手を誘うかのようにソフトなハーモニーで歌われます。

野 ば ら

詩聖ゲーテによる「野ばら」は、ウェルナーやシューベルトの曲で知られ、当団でも長年ウェルナーによる「野ばら」を愛唱してきました。本日はメンデルスゾーン作曲と伝えられる曲を歌います。野の中に美しい花を見出した子どもの気持ちを歌います。

森の歌声

原題は「Nearth the elm(エルムの木の下で)」エール大学の愛唱曲集に収められています。原曲では三重唱のSoliやバリトンのソロがありますが、本日の福永陽一郎編曲版では割愛されています。職業合唱団東京コラリアーズのテーマソングとして歌われていました。学生歌らしい明るくさわやかな曲調で、一緒に歌われます。

カリンカ

ロシア民謡と考えられてきましたが、1860年イワン・ペテローヴィチ・ラリノーオフが、アマチュア劇団の芝居のために作詞作曲し、その後友人のスタヴァンスキイの合唱団が歌い人気を博し、世界中で親しまれるようになった曲です。起伏の激しい強弱やテンポの変化を伴うこの曲は、ロシアでは結婚披露宴などでも歌われています。

第3ステージ 昭和を歌う

悲しき口笛

言うまでもなく昭和の歌謡界のトップスター美空ひばりが昭和24年に初めて主演した映画の主題歌です。シルクハットに燕尾服スタイルで歌い踊ったこの歌は当時の記録を破る大ヒットとなり、一躍全国に美空ひばりの名が知られるようになりました。

有楽町で逢いましょう

魅惑の低音として一世を風靡したフランク永井の代表曲ともなっているこの歌は、昭和32年に発売された有楽町そごうデパートのコマーシャルソングでした。作曲した吉田正は、他の有名歌手に歌わせたいという周囲の声に反対し、まだ無名だったフランク永井の低音を生かした都会的センスあふれるこの歌に絶対の自信を持っていました。

ブルー・シャトウ

昭和41年のジャッキー吉川とブルーコメッツの大ヒット曲です。この歌は、メンバーの井上忠夫がカナダのレイクルイーズ湖のほとりでわずか3分で作曲したと言われております。レコード売上150万枚を超えたブルーコメッツ最大のヒット曲で翌年のレコード大賞を受賞しました。

霧の摩周湖

この曲も昭和41年に布施明がヒットさせた歌です。作曲したのは当時結核で療養中だった平尾昌晃ですが、この歌で作曲家としての地歩を築くと共に、布施明をスターダムに押し上げ、摩周湖といえば霧というイメージをも定着させる歌となりました。

野風増

昭和60年の河島英五のヒット曲として知られていますが、作曲されたのは昭和55年で山本寛之が自分の息子に向けたメッセージソングとして自分のコンサートで歌ったものでした。野風増という意味は生意気なきかん坊とか、つっぱりという意味の岡山県の方言です。ひるまず何事にも立ち向かっていく正義漢に育って欲しいと願う父親の心情が共感を呼び、河島英五 橋幸夫 デュークエーセスその他10名もの歌手によって広く歌われました。

第4ステージ 男声合唱組曲「富士山」

♪あたまを雲の上にだし 四方の山を見下ろして 雷様を下に聞く 富士は日本一の山♪ と歌われているように、日本人であれば全ての人に富士山はいつの時代にも特別な「大存在」でした。凛として佇むその山は「靈峰」であり「存在を超えた無限なもの」でもあるのです。

葛飾北斎が富嶽三十六景を残したように、詩人草野心平もまた富士山をテーマに1940年から作詩をはじめ、1943年に17篇を収めた「富士山」を刊行しました。その後に作詞した9篇を加えて全26篇を作品第〇〇として編集し「草野心平詩全集」の中に収めました。作品番号には算用数字ではなく契約書類などに使用される漢字の代用数字が使われています。この詩から5篇を選んで多田武彦が男声合唱組曲「富士山」を作曲したのは昭和31年で、処女作「柳河風俗詩」に続く2作目の作品でした。「柳河風俗詩」が氏の恩師とも言うべき清水脩から「歌い手の声域を気にし過ぎている。男声合唱はもっとスケールの大きいものにしなければいけない」とアドバイスされた氏にとって、この富士山は格好のテーマであり、ここにスケールの大きいダイナミックな男声合唱組曲が生まれたのです。

I. 作品 第壹(第1)

花咲き誇る富士山麓でのすべての生き物の祭典を歌います。

II. 作品 第肆(第4)

土手の下からも遠くに座る富士山が詩人や少女たちを見守っています。

III. 作品 第拾陸(第16)

遠く牛久から日没時の黒富士が存在を超えた無限なものに見えます。

IV. 作品 第拾捌(第18)

黄金色の雲に照らされた富士山は地球の中心まで続いているようです。

V. 作品 第貳拾壹(第21)

夕映に輝く富士山に驟雨のように宇宙線が降り注いでいます。

富士山に登るのに頑健な体力が必要なように、この組曲を歌いきるのは相当なエネルギーが必要です。でも征服した時の何物にも代え難い達成感を味わうために、私達は今日最後のステージを精一杯歌いたいと思います。

プロフィール

常任指揮者 堀部 隆二

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業 二期会会員(テノール)
畠中良輔、酒井弘、大熊文子諸氏に師事。イタリア・ミラノへ留学。
マリア・カルボーネ、アリゴ・ポーラ氏に師事。

二期会・イイノホール主催「新進声楽家のタベ」のジョイント・リサイタルでのデビュー以来、数多くのリサイタル、コンサート、オペラに出演。

ヤナーチェック作曲のオペラ「イエヌーファ」の日本初演(若杉 弘指揮)では、スチーヴー役で出演。

一方、「声楽発声」に大変興味と関心を持ち、東京藝術大学在学中より現在の声楽発声学会の会員となり理事を務めた。現在も、声楽発声教師として多くの声楽家を育てている。

また、長年、清泉女学院中学・高等学校の音楽教師として教育活動に携わり、同校の元教頭。

現在、横浜さかえ男声合唱団、湘南アマデウス合唱団、葉山第九合唱団、カトリック藤沢教会聖歌隊の常任指揮者を務めるとともに、ははそ柞の森音楽祭総監督・実行委員長を兼任している



団員指揮者 角 祐一



山口県出身。高校時代に初めて聞いたコーラスに感動しその魅力の虜になった。大学グリークラブでは、2年次に副指揮者 3年次4年次を通して正指揮者として活躍する。横浜さかえ男声合唱団では団員指揮者として、堀部先生と隔週で練習を担当している。2005年5月、横須賀芸術劇場で行われた神奈川男声合唱協会第6回演奏会でデビュー、第2回定期演奏会から1ステージを担当している。2007年11月にコーラスに接する機会の少ない人たちにも男声合唱の魅力を味わってもらうため、平日でも活動できるさかえ男声有志でコーラスボランティア“さかえダンディーズ”を結成した。以後毎月1~2回のペースで各地のケアプラザなどの施設訪問を行い、唱歌、抒情歌、懐かしい歌謡曲などの演奏で大いに喜ばれている。2009年からはいそべと記念男声合唱団の団員として磯部作品を中心とした男声コーラスを楽しむ傍ら、須賀敬一先生に師事して指揮法の研鑽を積んでいる。2011年4月から1年間FM戸塚で毎週土曜日に様々なジャンルの歌をコーラスで紹介する番組「コーラスでの歌この歌」のDJをつとめたが、ソフトな語り口でのわかりやすいナレーションが各方面で絶賛された。

ピアニスト 首藤 亜希

東京藝術大学音楽学部ピアノ専攻卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。第40回鎌倉市学生音楽コンクール総合第1位。鎌倉市長賞、野村光一賞受賞。第19回ピティナ・コンペティションF級全国大会銅賞。

大学在学中に学内オーディション合格、モーニングコンサートにて藝大フィルと共に演。また、大学院では学位審査により選抜され、東京工業大学管弦楽団と共に演。これまでに平塚久子、日比谷友妃子、田辺緑、迫昭嘉、角野裕の各氏に師事。

現在、ソロの他、合唱伴奏、アンサンブルなどで活動し、後進の指導にも意欲的に取り組んでいる。

PTNA会員。鎌倉音楽クラブ会員。



団員名簿

♪Top tenor

浅田 一彦	伊藤 正昭	斎藤 和夫	瀬尾 弘吉
武田 和久	◎武部 幸生		

♪Second tenor

塩山 弘	◎高取 哲彌	棚村 信了	角村 新太郎
長尾 明信	菱山 武		

♪Baritone

飯田 滉充	池田 勝敏	◎近藤 純士	中田 宏
平山 正宏	森 博昭		

♪Bass

◎浅井 豊	鈴木 宏一	角 祐一	竹山 行三
古見 喜八郎	山辺 泰治		

◎パーティーリーダー

最近の主な活動

H23.11	第6回定期演奏会	栄公会堂
H24.2	イトヨーカドー店コン出演	イトヨーカドー桂台店 2F
4	介護老人保健施設「あさひな」訪問演奏	
8	神奈川男声合唱協会第9回演奏会出演	栄公会堂
10	栄区民芸術祭2010・秋の音楽祭「音楽の祭典」出演	栄公会堂
H25.3	さかえ春の文化祭・春の音楽祭出演	栄区民文化センター リス
4	神奈川男声合唱協会第10回記念演奏会出演	小田原市民会館大ホール

♪入団のお誘い♪

多田武彦・磯部倣の作品と一緒に歌いませんか？

**次回定演
予定曲** 多田武彦 作曲 組曲「雪と花火」・磯部 倄 作曲 組曲「パウラ」
日本民謡や愛唱曲などを予定しています。

練習日：毎週土曜日 夜 6:30～9:00 練習場：桂台中学校音楽室

団費：月 3,000円 連絡先：伊藤正昭 TEL/FAX 045-894-1131

URL : <http://sakaedansei.sakura.ne.jp/>

横浜さかえ男声合唱団 団歌

「明日を見つめて」

作詞・作曲 角祐一

一 ゆうやみせまる 丘の上

今宵も集いし われらが仲間

いくたの荒波 のりこえて

ふたたび春を 高らかにうたわん

横浜 さかえ男声 幸あれ さかえ男声

二 しおかぜかおる 横浜の

まちに生まれし われらが仲間

あしたを見つめて 今日もまた

こじろ合わせて 高らかにうたわん

横浜 さかえ男声 幸あれ さかえ男声

みんなで楽しく歌いましょう!

「茶
摘」

作詞・作曲者 不詳

一 夏も近づくハ十八夜

野にも山にも若葉が茂る

「あれに見えるは茶摘じやないか

あかねだすきに菅の笠」



二 日和つつきの今日此頃を

心のどかに摘みつつ歌う

「摘めよ摘め摘め摘まねばならぬ

摘まにや日本の茶にならぬ」